

化粧品や原料の安全性を確認することが化粧品を販売するうえで重要となります。皮膚の細胞の生存率を測定し、刺激性を評価する試験です。細胞の生存率を刺激の標準物質と比較することで、【無刺激】【軽刺激】【中刺激】【強刺激】の4段階の刺激強度に判定します。皮膚刺激の予測方法の一つであり、ECOFIT(オーガニックコスメ認証団体)に対応した試験でもあります。

試験目的: シミ、くすみ

データ活用: 社内教育用資料 基礎研究データ

データ提出: 画像 数値

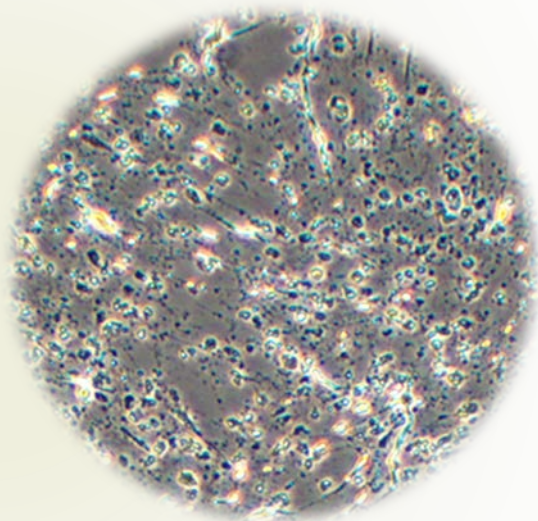
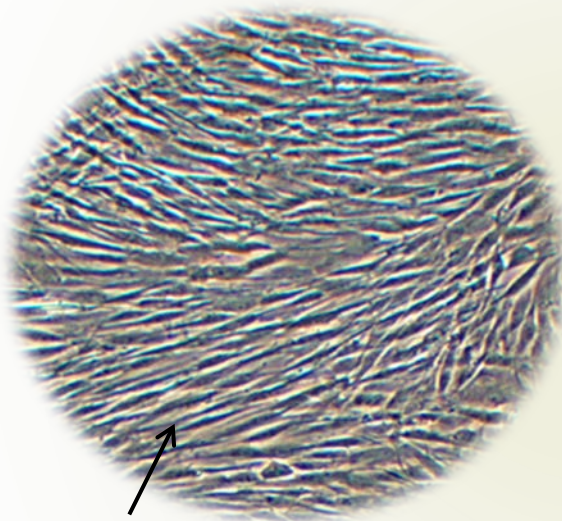
データ例:

刺激標準物質の細胞毒性(刺激)と比較して刺激性を判定

無刺激 < 刺激標準物質A < **軽刺激** < 刺激標準物質B < **中刺激** < 刺激標準物質C < **強刺激**

作用無

原料A



細胞

原料Aに刺激が確認される

刺激標準物質: 化粧品業界で刺激がある(刺激物質)と認められている物質

その他、各種細胞、三次元培養皮膚を用いた試験も行っておりますので、お問い合わせください。